

クレーム分説ツール（日本語用）の使い方

1. はじめに

近年、クレームを記述する際に、構成要素ごとに改行を入れるスタイルで記述されているものが数多く見受けられるようになりましたが、改行での分割がなく、1行の長文として書かれているものも少なくありません。本ツールは、長文のクレームを構成要素単位に分割するとともに、指定された名詞句をハイライトすることで、クレームの読解を支援するツールです。

2. 基本的な使い方

ツールを起動すると、以下の画面が表示されますので、クレーム入力欄に分析したいクレームを入力し、入力欄の下にある「実行」ボタンをクリックしてください。



Japioクレーム分説ツール(日本語用)

クレーム入力欄(日本語) :

【請求項1】 培養対象を培養する担体部と、前記担体部を保持する保持部と、前記担体部で培養された培養対象を回収する回収部とを有する培養装置であって、前記担体部は、培養対象を付着させる担体と、内部に前記担体を収容する収容体と、前記収容体の内部にて当該収容体および前記担体を支持する支持体と、前記支持体に設けられるとともに前記保持部によって保持される被保持部とを備え、前記担体は、前記収容体の内部において互いに対向して設けられる第1対向部および第2対向部と、当該第1対向部および当該第2対向部の間を連続させる連続部とを有し、前記支持体は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と、当該担体の前記第1対向部および前記第2対向部により挟まれる空間にガスを供給するガス供給部とを有し、前記担体は、平板状に形成されるとともに板面が上下方向に沿う向きに設けられ、前記担体を挟んで設けられるローラ対と、前記ローラ対間の距離を変化させるとともに、当該ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる移動機構とを有し、前記移動機構は、前記ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる際に、当

図1 クレーム入力画面

ヒント： 行単位で処理を行うため、改行での分割がされているクレームとされていないクレームを複数個混在した形で入力することもできます。

「実行」ボタンを押すと、以下のようにクレームが複数の行に分割されて、表示されます。



Japioクレーム分説ツール(日本語用)

処理結果を印刷

辞書編集

色編集

本ツールの使い方

は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と、当該担体の前記第1対向部および前記第2対向部により挟まれる空間にガスを供給するガス供給部とを有し、前記担体は、平板状に形成されるとともに板面が上下方向に沿う向きに設けられ、前記担体を挟んで設けられるローラ対と、前記ローラ対間の距離を変化させるとともに、当該ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる移動機構とを有し、前記移動機構は、前記ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる際に、当

実行

クリア

処理結果：

【請求項1】

培養対象を培養する担体部と、

前記担体部を保持する保持部と、

前記担体部で培養された培養対象を回収する回収部とを有する培養装置であって、

前記担体部は、培養対象を付着させる担体と、

内部に前記担体を收容する收容体と、

前記收容体の内部にて当該收容体および前記担体を支持する支持体と、

前記支持体に設けられるとともに前記保持部によって保持される被保持部とを備え、

前記担体は、前記收容体の内部において互いに対向して設けられる第1対向部および第2対向部と、

当該第1対向部および当該第2対向部の間を連続させる連続部とを有し、

前記支持体は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と、

当該担体の前記第1対向部および前記第2対向部により挟まれる空間にガスを供給するガス供給部とを有し、

前記担体は、平板状に形成されるとともに板面が上下方向に沿う向きに設けられ、前記担体を挟んで設け

られるローラ対と、前記ローラ対間の距離を変化させるとともに、当該ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる移動機構とを有し、

前記移動機構は、前記ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる際に、当該ローラ対を互いに接近させ当該ローラ対によって前記担体を押圧しながら、

下側から上側に向けて移動させることを特徴とする

培養装置。

図2 処理結果の表示例

「前記〇〇」のような先行する構成要素を参照する名詞句をクリックすると、その語句がハイライトされます^(*)。また、ハイライトされている語をもう一度クリックすると、ハイライトが解除されます。

処理結果：

【請求項1】
 培養対象を培養する担体部と、
 前記担体部を保持する保持部と、
 前記担体部で培養された培養対象を回収する回収部とを有する培養装置であって、
 前記担体部は、培養対象を付着させる担体と、
 内部に前記担体を収容する収容体と、
 前記収容体の内部にて当該収容体および前記担体を支持する**支持体**と、
 前記**支持体**に設けられるとともに前記保持部によって保持される被保持部とを備え、
 前記担体は、前記収容体の内部において互いに対向して設けられる第1対向部および第2対向部と、
 当該第1対向部および当該第2対向部の間を連続させる連続部とを有し、
 前記**支持体**は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と、
 当該担体の前記第1対向部および前記第2対向部により挟まれる空間にガスを供給するガス供給部とを有し、
 前記担体は、平板状に形成されるとともに板面が上下方向に沿う向きに設けられ、前記担体を挟んで設けられるローラ対と、前記ローラ対間の距離を変化させるとともに、当該ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる移動機構とを有し、
 前記移動機構は、前記ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる際に、当該ローラ対を互いに接近させ当該ローラ対によって前記担体を押圧しながら、
 下側から上側に向けて移動させることを特徴とする
 培養装置。

図3 ハイライト状態の例(1)

ハイライトは最大10語まで、異なる色で表示されます。11個目からは太字でのみの表示となります。

処理結果：

【請求項1】
 培養対象を培養する担体部と、
 前記担体部を保持する保持部と、
 前記担体部で培養された培養対象を回収する回収部とを有する培養装置であって、
 前記担体部は、培養対象を付着させる担体と、
 内部に前記担体を収容する**収容体**と、
 前記**収容体**の内部にて当該**収容体**および前記担体を支持する**支持体**と、
 前記**支持体**に設けられるとともに前記保持部によって保持される被保持部とを備え、
 前記担体は、前記**収容体**の内部において互いに対向して設けられる第1対向部および第2対向部と、
 当該第1対向部および当該第2対向部の間を連続させる連続部とを有し、
 前記**支持体**は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と、
 当該担体の前記第1対向部および前記第2対向部により挟まれる空間にガスを供給するガス供給部とを有し、
 前記担体は、平板状に形成されるとともに板面が上下方向に沿う向きに設けられ、前記担体を挟んで設けられる**ローラ対**と、前記ローラ対間の距離を変化させるとともに、当該**ローラ対**を前記担体の面に沿って移動させる**移動機構**とを有し、
 前記**移動機構**は、前記**ローラ対**を前記担体の面に沿って移動させる際に、当該**ローラ対**を互いに接近させ当該**ローラ対**によって前記担体を押圧しながら、
 下側から上側に向けて移動させることを特徴とする
 培養装置。

図4 ハイライト状態の例(2)

(*) ハイライトできる語は原則「前記〇〇」の形で参照されている名詞のみです。

なお、分割処理を実行すると、画面右上の「処理結果を印刷」ボタンが押せる状態になります。印刷したりPDFに保存する場合は、ブラウザの印刷機能ではなく、この「処理結果を印刷」ボタンを押して印刷してください。



Japioクレーム分説ツール(日本語用)

処理結果を印刷

辞書編集

色編集

本ツールの使い方

処理結果：

【請求項1】
 培養対象を培養する担体部と、
 前記担体部を保持する保持部と、
 前記担体部で培養された培養対象を回収する回収部とを有する培養装置であって、
 前記担体部は、培養対象を付着させる担体と、
 内部に前記担体を收容する**収容体**と、
 前記**収容体**の内部にて当該**収容体**および前記担体を支持する**支持体**と、
 前記**支持体**に設けられるとともに前記保持部によって保持される被保持部とを備え、
 前記担体は、前記**収容体**の内部において互いに対向して設けられる第1対向部および第2対向部と、
 当該第1対向部および当該第2対向部の間を連続させる連続部とを有し、
 前記**支持体**は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と

図5 処理結果の印刷

3. 高度な使い方

3.1 ハイライト色の指定

ハイライトしたい語を右クリックすると、ハイライトに使う色を選択するためのコンテキストメニューが表示されます。表示された色の中から使用したい色を選択してください。

右クリックによる色の選択は、まだハイライトしていない語だけでなく、既にハイライトしている語のいずれに対しても行えます。図6に示した例では、対象語抽出の際に、「ローラ対間」に対して接尾語の「間」を含めて抽出されたため、「ローラ対」と「ローラ対間」が異なる色でハイライトされています。このような場合は、「ローラ対間」に対して右クリックをし、「ローラ対」と同じピンクを選択することで、ピンクで統一して表示できます。

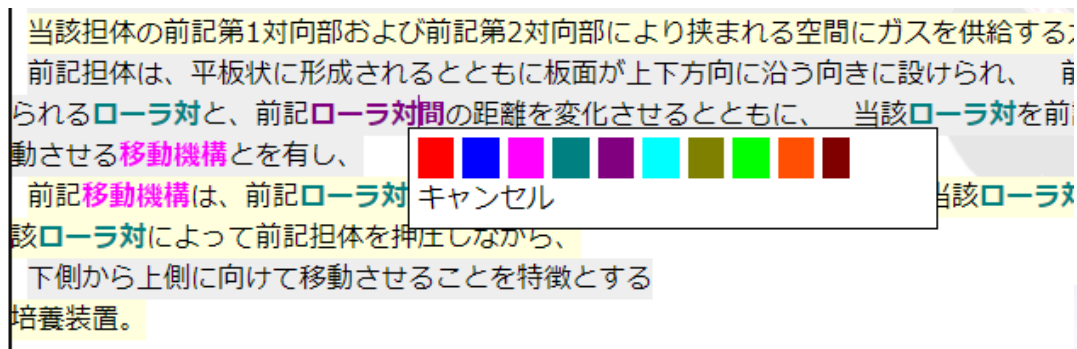


図6 右クリックで色選択

もし標準で用意されている色以外の色を使いたい場合には、画面上部に表示されている「色編集」ボタンをクリックしてください。すると図7上部に示す色編集ダイアログが表示されます。そこで、変更したい色をクリックし、色の変更を行ってください。色の選択が終わったら「保存」ボタンを押してください。



図7 ハイライト色の編集

3.2 ユーザ辞書を使う

ハイライト対象語抽出機能に使用している言語解析ツールの仕様により、期待したように用語が抽出できず、うまくハイライト対象語にならない場合があります。図8の例は、本来「不織布繊維」という語として抽出してほしいところ、「不」だけが抽出されてしまっています。

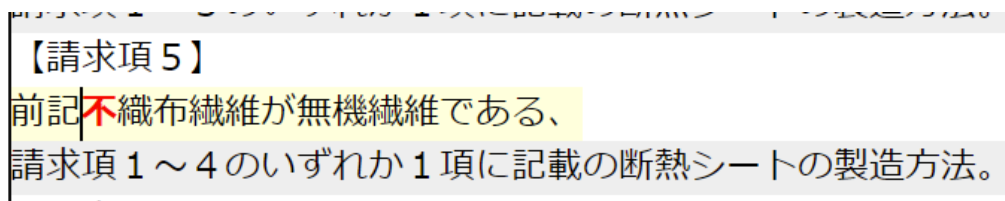


図8 処理例

このような場合には、画面上部に表示されている「辞書編集」ボタンをクリックしてください。すると図9に示すユーザ辞書編集ダイアログが表示されます。そこで、抽出したい語(この例では「不織布繊維」)を入力し、「保存」ボタンを押してください。追加した用語が有効となるのは、次の実行からとなります。



図9 辞書編集

辞書登録する代わりに、ハイライトしたい任意の語を下の例のように範囲指定してから右クリックし、色を選択することで、指定した語をハイライトすることもできます^(*2)。その際、範囲指定された語は同時に辞書に登録されます。



図10 範囲指定した語をハイライトする

3.3 分割個所の修正

ツールが推定した分割個所は常に正しいわけではありません。本来、分割してほしい箇所で分割されていない場合や、分割する必要がないところで分割されている場合があります。処理結果の内容は編集可能ですので、そのような場合には、メモ帳やマイクロソフトウェアでテキストを編集するように、修正すべき個所にカーソルを持って行き、改行の追加や削除を行ってください。

前記支持体は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と、
 当該担体の前記第1対向部および前記第2対向部により挟まれる空間にガスを供給するガス供給部とを有し、
 前記担体は、平板状に形成されるとともに板面が上下方向に沿う向きに設けられ、前記担体を挟んで設けられるローラ対と、前記ローラ対間の距離を変化させるとともに、当該ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる移動機構とを有し、

図11(a) 処理結果の編集(編集前)

前記支持体は、前記担体の前記連続部に培養液を供給する培養液供給部と、
 当該担体の前記第1対向部および前記第2対向部により挟まれる空間にガスを供給するガス供給部とを有し、
 前記担体は、平板状に形成されるとともに板面が上下方向に沿う向きに設けられ、前記担体を挟んで設けられるローラ対と、前記ローラ対間の距離を変化させるとともに、当該ローラ対を前記担体の面に沿って移動させる移動機構とを有し、

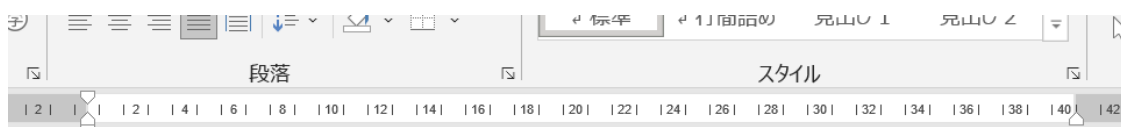
図11(b) 処理結果の編集(編集後)

(*2) 辞書登録を行ってから再実行した場合と、語を範囲指定して色選択した場合で、処理結果が異なる場合があります。

3.4 処理結果を他のツールにコピーする

処理結果は、ハイライトした状態を保ったまま、マイクロソフトのワードやエクセルにコピーすることができます。

- ・ワードには、行ごとに付与されている背景色込みでコピーされます。
- ・エクセルには、背景色が取れた形でコピーされます。



前記担体部を保持する保持部と、↓

前記担体部で培養された培養対象を回収する回収部とを有する培養装置であって、↓

前記担体部は、培養対象を付着させる担体と、↓

内部に前記担体を收容する收容体と、↓

前記收容体の内部にて当該收容体および前記担体を支持する支持体と、↓

前記支持体に設けられるとともに前記保持部によって保持される被保持部とを備え、↓

前記担体は、前記收容体の内部において互に対向して設けられる第1対向部および第2

対向部と、↓

図12 ワードへのコピー例

	A	B
4	前記担体部を保持する保持部と、	
5	前記担体部で培養された培養対象を回収する回収部とを有する培養装置であって、	
6	前記担体部は、培養対象を付着させる担体と、	
7	内部に前記担体を收容する收容体と、	
8	前記收容体の内部にて当該收容体および前記担体を支持する支持体と、	
9	前記支持体に設けられるとともに前記保持部によって保持される被保持部とを備え、	
10	前記担体は、前記收容体の内部において互に対向して設けられる第1対向部および第2対向部と、	

図13 エクセルへのコピー例